

公益財団法人ソーシャルサービス協会

第 30 回評議員会 議事録

- 1 開催日時 2022 年(令和 4 年)6 月 24 日(金)午後 1 時～午後 3 時 05 分
 - 2 開催場所 全日自労会館 6 階会議室
 - 3 評議員 総数 5 人
 - 4 出席した評議員数
内訳 本人出席 5 人
廣瀬肇 福富保名 宮本禮次郎 猪野保正 高木哲次
欠席者 なし
 - 5 監事の出席 伊藤東一 小太刀美津江
 - 6 理事の出席 理事長・神田豊和 常務理事・涌井俊夫
 - 7 議 題
議題：第 1 号議案 議事録署名人選出の件
第 2 号議案 第 29 回評議員会、第 41 回理事会、第 42 回理事会以降近々の報告(役員の職務報告等含む)の件
第 3 号議案 2021 年度事業報告の件
第 4 号議案 2021 年度決算と監査報告の件
第 5 号議案 2021 年度決算にたいする顧問税理士の検査所見の件
第 6 号議案 第 43 回理事会開催の件 2022 年(令和 4 年)9 月 28 日(水)
第 7 号議案 第 31 回評議員会開催の件 2023 年(令和 5 年)1 月 20 日(金)
 - 8 議長等選任および会議成立の定足数の確認
定刻に至り、神田豊和理事長は開会を宣し、涌井俊夫常務理事が定款 20 条にもとづき評議員会の定足数を報告した。続いて議長に福富保名評議員を選出し、本日の評議員会は定数を満たしたので有効に成立した旨を告げたあと議題の審議に入った。
 - 9 議事の経過の容量と審議状況および決議の結果
上記のとおり出席があったので、本評議員会は適法に成立した。
 - 10 議長から議事録作成人についての提起があり、涌井俊夫常務理事を全体で承認した。
- 第 1 号議案 議事録署名人の選出の件
福富議長から指名により、神田理事長が第 1 号議案である議事録署名人に議長の福富保名、評議員・宮本禮二郎、評議員の高木哲次の両氏を指名した。

福富議長はその賛否を問うたところ、満場異議なく承認した。

第2号議案 第29回評議員会、第41回理事会、第42回理事会以降近々の報告(役員の職務報告等含む)の件

福富議長からの指名により、涌井常務理事が第2号議案である第29回評議員会、第41回理事会、第42回理事会以降近々の報告をおこなった。

つづいて、涌井常務理事から理事長、常務理事の職務執行について報告があった。

つづいて、涌井常務理事から新型コロナウイルス関連など各事業所の状況報告、毎月発行している『協会だより』などで報告した。

つづいて、今年4月1日現在の当財団の「常用雇用調査報告」の集計結果が報告された。概要として、常勤35人、非常勤85人で計120人。男性51人、女性69人、65歳以上が58人で全体の48%になります。

つづいて、涌井常務理事から常勤職員の採用について、京都事業所が植松一也氏、ワークセンターが岡本健一氏、同・藤井貴吉氏、同・上田洋氏の4人の報告があった。

つづいて、涌井常務理事から「財団の一元化」に向けた所長会議について、第41回理事会及び第29回評議員会を受けて、両会議での説明を目的とした個別所長会議(オンライン)を4月18日から5月18日の期間で7事業所所長と懇談した報告があった。その中で、本部体制の強化が必要ではないかという意見が出された。すすめるうえで、内閣府との調整を図ることの必要性があるのではという意見もだされた。

その他の件では、涌井常務理事から「本部資金繰り」について、財団創立60周年記念事業の件で今年は新型コロナウイルス禍の影響により記念集会は見合わせ、記念品作成を企画する。なお、感染症の状況によっては、11月に予定している全国所長会議にあわせて創立60周年記念集会の企画を検討する、と報告があった。財団本部の会計パソコン・サーバーの変更と会計ソフトについて検討しているとの報告があった。

内閣府認定等委員会に昨年7月2日付で提出した「2020年度事業報告」の件で約1か年たつ6月7日付で「修正依頼」が届き、数度にわたり修正して内閣府に提出したとの報告があった。

第3号議案 2021年度事業報告の件

福富議長からの指名により、涌井常務理事から2021年度事業につき概要が報告された。

2021年度の事業活動は昨年1月に国内においても発症例をみた新型コロナウイルス感染症が以降国内のいたるところで慢性的拡大した状況の中で各事業所で事業がすすめられた。当財団が推進する事業は、高齢者、生活困窮者の就労促進や就労支援、介護保険事業のどれをとっても「対人・対面のケア」を主とする事業形態であり、事業の利用者にとっても、事業を提供する労働者にとっても「徹底した感染予

防環境の確保」を最優先しながらの事業展開でした。

このような状況の中で、今年度は経営実績を継続するという課題を掲げて事業にとりくみ、各事業の報告が移行認定申請書の事業に沿ってされた。収支相償の原則より黒字額については、①本年の創立 60 周年記念事業費、②財団の会計システムソフト更新(600 万円から 900 万円の見積もり)③新規事業の検討等に充てる旨報告された。

福富議長は第 3 号議案の承認を問うたところ、満場異議なくこれを決議した。

第 4 号議案 2021 年度決算と監査報告の件

福富議長からの指名により、涌井常務理事から 2021 年度決算につき概要が報告された。

2021 年度決算は、前年同期対比では 1,858 万円の後退となりました。3 事業所にて黒字を達成しましたが、4 事業所で赤字となりました。前年対比でみると 3 事業所で大きく後退しました。IT センターが - 639 万円、ワークセンターが - 384 万円、京都事業所で - 594 万円という結果でした。

事業分野別では清掃事業と自立支援事業では前年対比で前進させましたが、介護事業の分野では、3 事業所の合計で 124 万円の赤字となりましたが。介護事業では訪問介護収益は 3 事業所とも減少させましたが、居宅介護支援収益は仙台、京都とも前進させました。利用者やヘルパーの減少する状況が続く中で介護単価をアップさせる事業所の努力が反映した結果です。介護事業で予想された消耗品費も年間 3 事業所で 17 万円増で押さえています。

清掃事業部門では 3 事業所合計で収益は 397 万円減らしたものの、費用支出を 468 万円減らし清掃部門の黒字となりました。自立支援事業は収益が昨年の 7,224 万円を 12,835 万円に 5,600 万円増加させた奮闘が大きく反映しました。IT センターでは全体で 1,358 万円の収益増がありましたが、前年を 2,042 万円超過した業務外部委託費が影響しました。今後の確実な回収益が期待されます。本部では、その他収入・経費について増加減少がありますが、会計処理訂正や細かな増加減少があり、大きく見て消費税の増加が要因と考えます。

2021 年度末決算の監事監査を 2022 年 6 月 3 日実施しました。

つづいて福富議長からの指名により、伊藤監事から 2021 年度決算につき概要が報告された。

監査結果 会計種類等は、監査期間中の協会の会計活動の実態と期間末日の財産の状況を正しく反映していることを確認した。また、今期の業務執行状況についても適正に執行されていることを確認した。

監査意見 1. 今期においては全体の収益は 481 万円の黒字となりました。しか

し、前期に比して利益額は減少しました。また、事業所において、以前として赤字体質を克服できず、脆弱な体質が続いています。財団本部としてこれらの事業所に対する指導をお願いします。

2. 財団本部の会計処理、実務は前進しています。今後も一層の努力をお願いします。
3. 現在の財団一体としての会計処理については、2023年10月からは消費税のインボイス方式実施(予定)と、2024年1月実施の「電子帳簿保存法」改正施行に伴い、これまで以上に各事業所の保管に任せている書類の財団本部の電子保存が必要になります。各事業所に改善指導してください。

福富議長は第4号議案の承認を問うたところ、満場異議なくこれを決議した。

第5号議案 2021年度決算に対する顧問税理士の検査所見の件

福富議長からの指名により、涌井常務理事から2021年度決算に対する顧問税理士の検査所見につき概要が報告された。検査所見は、①財政運営成績、②財政状況、③各事業所の正味財産及び現預金、④その他業務遂行上の課題につき報告された。また、今期の年度末決算作業の過程で、2016年9月に北区滝野川のユニオンコーポ101回収に際し、減価償却の計算を定額法で償却すべきところ定率法にて計算していたことが発覚し、評議員、理事の「稟議書」による承認のもと2022年(令和4年)5月23日に訂正した旨を報告した。

審議の中で、高木評議員より、介護事業は非常に厳しい状況にあるが、地域的にも連携しやすい京都事業所とワークセンターとの連携で生活困窮者に対する支援事業等検討できないか、自治体の就労対策としても要請できないか等の意見が出された。

福富議長は第5号議案の承認を問うたところ、満場異議なくこれを決議した。

第6号議案 第43回理事会開催の件 2022年9月28日(水)午後1時から

福富議長からの指名により、涌井常務理事から第43回理事会開催の件が報告された

- | | |
|-------|---|
| 第1号議案 | 第42回理事会、第30回評議員会以降近々の報告(役員の職務執行報告等含む)の件 |
| 第2号議案 | 2022年度第一四半期決算と監査報告の件 |
| 第3号議案 | 全国所長会議開催の件 11月24日(木)~11月25日(金) |
| 第4号議案 | 第44回理事会開催の件 12月9日(金) 午後1時~4時 |
| 第5号議案 | 第31回評議員会開催の件 1月20日(金) 午後1時~4時 |

福富議長は第6号議案の承認を問うたところ、満場異議なくこれを決議した。

第7号議案 第31回評議員会開催の件 2023年1月20日(金)午後1時から

福富議長からの指名により、涌井常務理事から第31回評議員会開催の件が報告された

- 第1号議案 議事録署名人の選出の件
- 第2号議案 第43回理事会、第30回評議員会以降近々の報告(役員の職務執行報告等含む)の件
- 第3号議案 2022年度第一四半期決算と監査報告の件
- 第4号議案 2022年度上半期決算と監査報告の件
- 第5号議案 第44回理事会開催の件 12月9日(金)午後1時~4時
- 第6号議案 第32回評議員会開催の件 1月20日(金)午後1時~4時

福富議長は第7号議案の承認を問うたところ、満場異議なくこれを決議した。

以上をもって、議案の全部を終了したので、福富議長は、午後3時05分に閉会を宣言し散会した。

上記の決議を確認するため、議長および議事録署名人の評議員2人がこれに署名捺印する。

2022年6月24日

公益財団法人ソーシャルサービス協会
第30回評議員会
議事録署名人

議 長 福富 保名



評 議 員 宮本 禮二郎



評 議 員 高木 哲次

